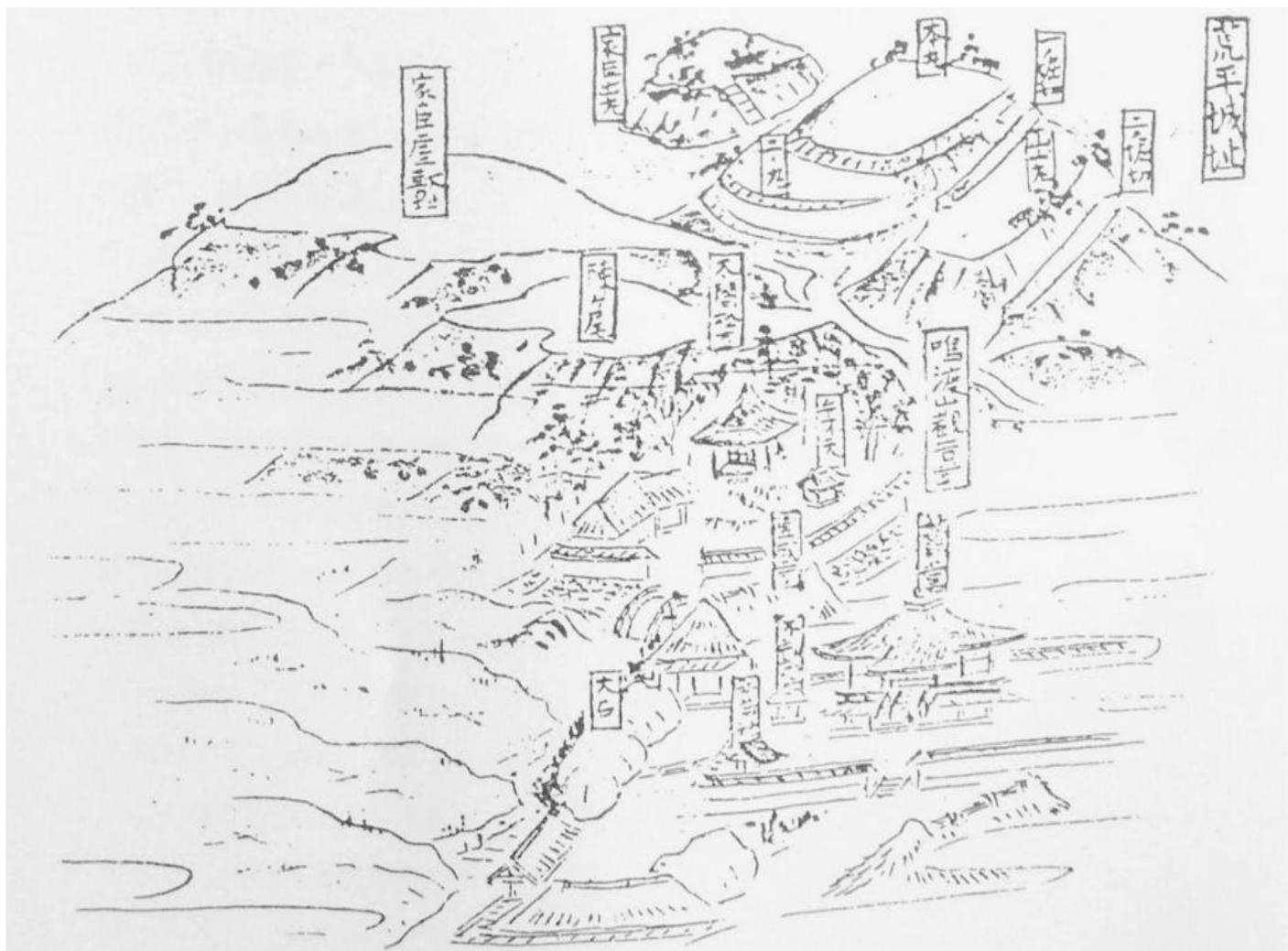


第12回 秋月街道シンポジウム

— 太閤が歩いた道 Ⅲ —

秀吉が逗留した秋月氏の居城

荒平城



荒平城付近絵図・続風土記付録

- 開催日 平成21年11月29日(日) 10:00～15:30
会場 秋月公民館 朝倉市秋月670番地 入場無料・当日受付
プログラム
① 講演 (10:15～11:45)
荒平城と秋月周辺の山城について
講師 九州歴史資料館 岡寺良氏
② 巡検 (13:15～15:15) 荒平城址

主催
共後

主催
後援

秋月街道シンポジウム実行委員会
秋月街道ネットワークの会 朝倉市教育委員会
文化庁 福岡県教育委員会 秋月郷土館

秋月街道シンポジウムのご紹介

秋月街道シンポジウムは、各地に残る秋月街道やその沿線の歴史と現状を紹介し、意見交換を行うことで、地元や各地の方々に秋月街道の存在を知っていただき、秋月街道についての歴史的認識や保存を促すための呼び水となることを目指しています。

秋月街道は中世より肥前・肥後・筑後と筑前・豊前を結ぶ道であり、長崎街道の整備以前より肥前と筑前・豊前を結ぶ道で、戦国武将が戦いのため、宣教師が布教のために往来した道であり、長崎街道の前身ともいえる存在でした。

秋月街道シンポジウムは、平成10年10月、福岡県朝倉市秋月で第1回を開催し、以後北九州市・田川郡香春町などで過去11回開いてきました。

今年度は、「豊臣秀吉の歩いた道 Ⅲ」をテーマに、朝倉市秋月の荒平城跡と秋月街道沿いに築かれた秋月氏時代の山城について取り上げ、秋月街道と秋月氏の居城や出城の関係を探ってゆきます。これまでのシンポジウムで豊前国香春岳城や筑前国益富城などの街道沿線の山城を豊臣秀吉の九州平定とのかかわりで取り上げてきましたが、今回は秋月氏の里城(居城)である荒平城と周辺の山城について検討を加えます。

荒平城は中世山城の特徴をよく留めています。また、この城は豊臣秀吉が秋月種実を下した後に滞在し北部九州の大名・国人の謁見をおこない、九州平定をほぼ確実にした場所でもありますが、残然ながらその実態や現状が紹介される機会がほとんどありませんでした。

今回のシンポジウムにより、その姿が明らかとなると思いますので、皆様のお出でを心よりお待ちしております。

会場周辺地図

